

★ まちのわだい ★

親子で環境保全を学ぶ

12月23日、竜北公園において廃油を使ったキャンドル作りが行われ、桜っ子クラブの親子ら約50人が参加しました。

この日は、各家庭から廃油約30リットルが寄せられ、約400個のキャンドルに生まれ変わりました。出来あがったキャンドルは、竜北公園に飾られ、ゆらゆらと美しく炎を灯していました。



▲夜になりきれいに浮かび上がりました



▲固まるまで少し待ちます

誰もが輝くまちづくりを

12月25日、氷川町文化センターにおいて第2回 氷川町人権啓発集会が行われました。

南関町教育長の大里耕守さんを講師に、「人権文化の街づくりをめざして」と題し、人権にかかわる近況や人権の重要課題について講演が行われました。

また、人権作品表彰も行われ、入賞した児童・生徒28人が表彰を受けました。



▲人権作品入賞作品



▲講演を行う大里耕守さん

サンタがまちにやってきた！

12月25日クリスマスの夜、氷川町にサンタクロースがやってきました。

これは、(社)輝け日本の会(谷川政敏会長)がサンタ教育の一環として行ったもので、約25組の親子の参加がありました。

サンタが来るのを心待ちにしていた子どもたちは、目の前のサンタに驚きながらも、喜びを隠せないといった様子で、夢のひと時を楽しんでいました。



▲サンタさんと記念撮影



▲一人ひとりにプレゼントが手渡されました

★ まちのわだい ★

梨栽培の担い手7人が海外研修

昨年の11月21日から23日にかけて、JA やつしろ果樹部会 梨青年部7人が氷川町人材育成派遣研修制度を活用して、韓国へ梨視察研修を行いました。この研修は、8年続く吉野梨の台湾輸出と競合する韓国梨の生産現場ならびに今後の動向について調査することを目的としています。

視察で訪れた天安梨園芸農業協同組合は、国内生産量の約1割を占め、102年の歴史がある国内でも有数の梨産地で、大規模経営を生かした輸出や、効率的な大型農業施設の整備などに取り組んでおり、参加者からは、「私たちも今以上に栽培技術の向上を図る必要を感じた。」などの声が聞かれました。



▲現地選果場にて



▲現地農協職員との意見交換



▲園地視察の様子

晩白柚が「ぷっちょ」に

12月14日、UHA味覚糖(大阪市)より、晩白柚の果汁を使った「ぷっちょスティック晩白柚」の発売が発表されました。

これは、県のPRキャラクター くまモンの初営業に應える形で商品化が決定したもので、3月より九州7県で先行発売し、その後全国発売予定。

産地視察で来町した山田泰正社長は、「特長ある晩白柚を商品化できるチャンスを大切に、大事にしていきたい。」と話されました。



▲くまモンのパッケージが目印

バレーボール熊本県選抜に選出！

12月20日、町長室において第25回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に熊本県選抜の一員として出場された、竜北中3年 斉藤千佳さん(中網道)の壮行会が行われました。

藤本町長から、「大変名誉なことです。しっかり楽しんできてください。」と激励があると、斉藤さんは、「熊本県の代表として、良い結果が残せるよう最後まで頑張ります。」と大会への意気込みを語ってくれました。



▲斉藤千佳さん

全国大会出場選手を紹介します

地区大会で活躍され、全国大会に出場された選手を紹介します。出場選手、大会などについては以下のとおりです。

第42回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 平成23年12月23～29日：東京都 渋谷区

所属	氏名	地区名	種目
大津高校1年	松崎 朱音	中大野	女子バスケットボール